

# 織られた住まい

一枚の布のように地に沿って広がる平野。

暮らし方や人との関わり方が多様化する中で、家族それぞれのリズムや気持ちのずれを、織り目のようにずらして重ね、無理なく寄り添える距離感をつくる。

階段状の隣接マンションと呼応して天井高を変化させ、空間にリズムを生み出した。

中庭や土間リビングが家族の関係をやさしく織り重ねる。

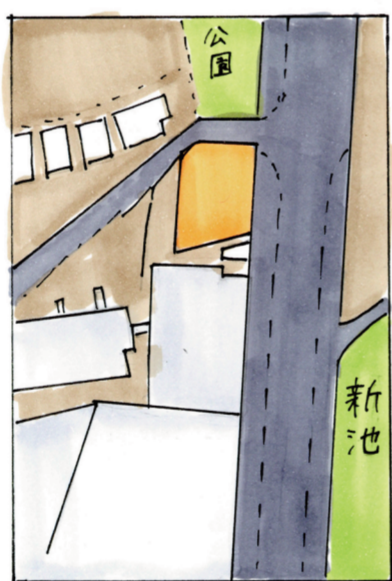


## 敷地について

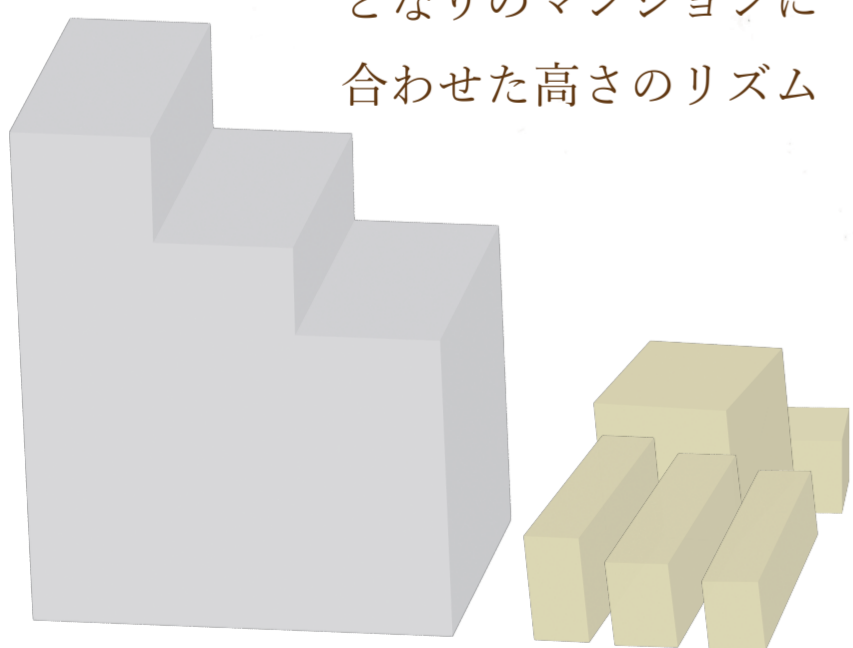
所在地：名古屋市千種区新池町

周辺環境：バス通り沿いで、信号付き交差点に隣接、南に6階建てマンションあり

自然環境：「新池」や周囲の木々により自然を感じられる

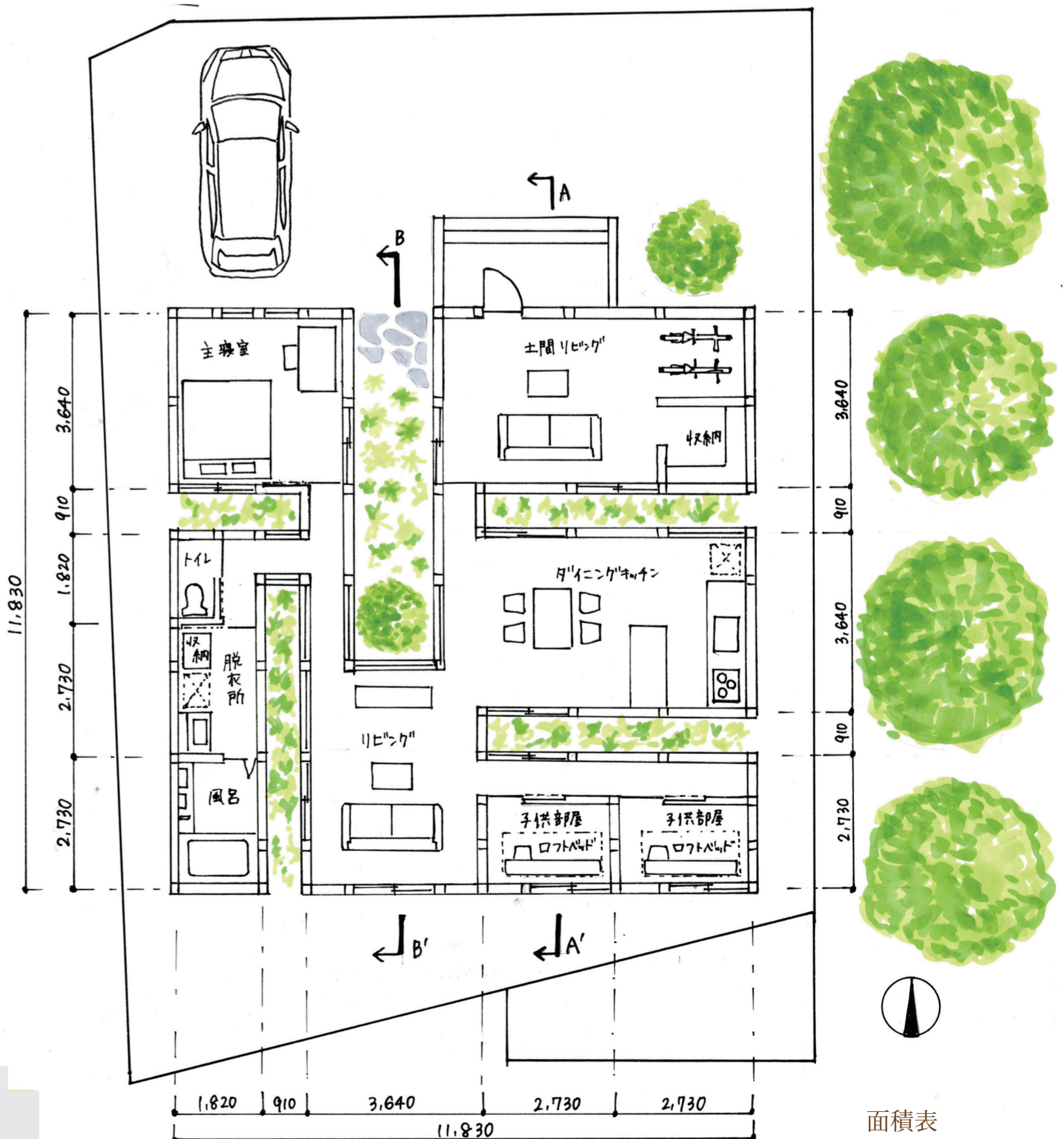


となりのマンションに合わせた高さのリズム

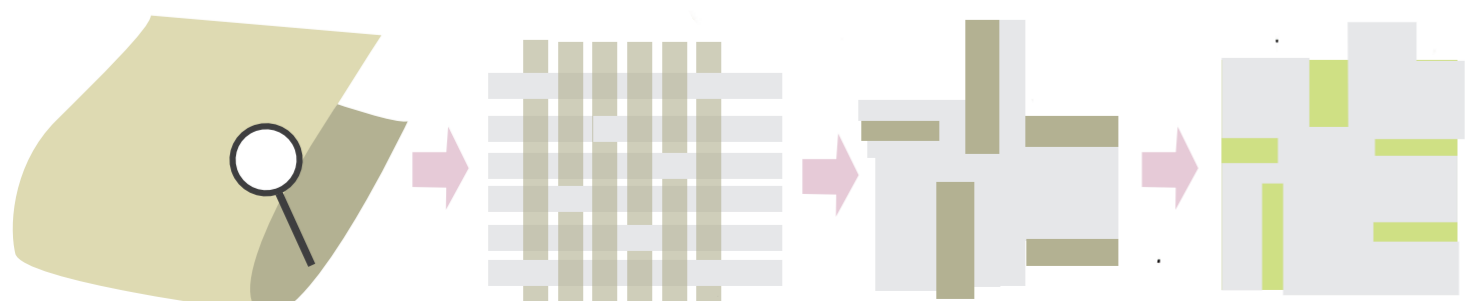


### 家族構成

- ・父 (50) 会社員  
リモート勤務と出社を行き来しながら落ち着く場所を探す
- ・母 (48) パート勤務  
家事やパートの合間に家族と自然に関われる空間がほしい
- ・長女 (19) 大学生  
自室では集中、作業やくつろぎはリビングや土間に分散
- ・弟 (14) 中学生  
思春期。狭い個室と共有空間で家族と緩やかにつながる



### 平面イメージ



一枚の布を

拡大して

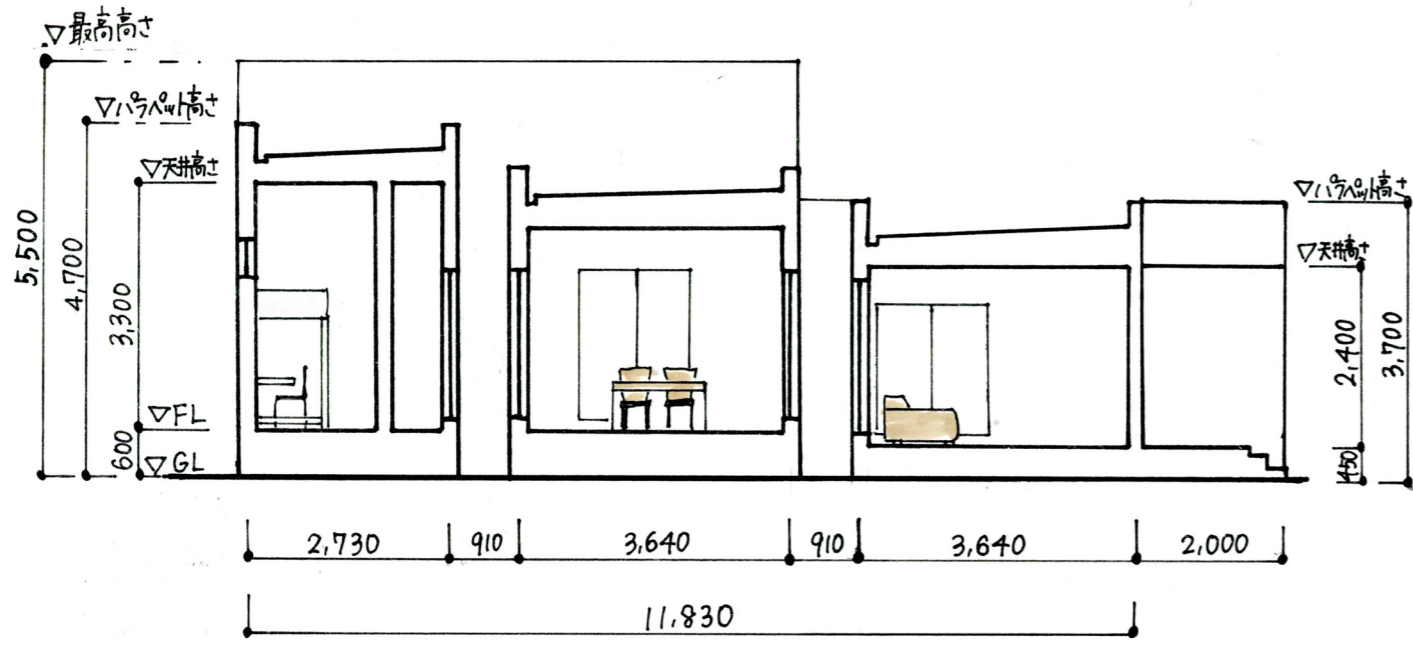
織り目を崩して

住宅に

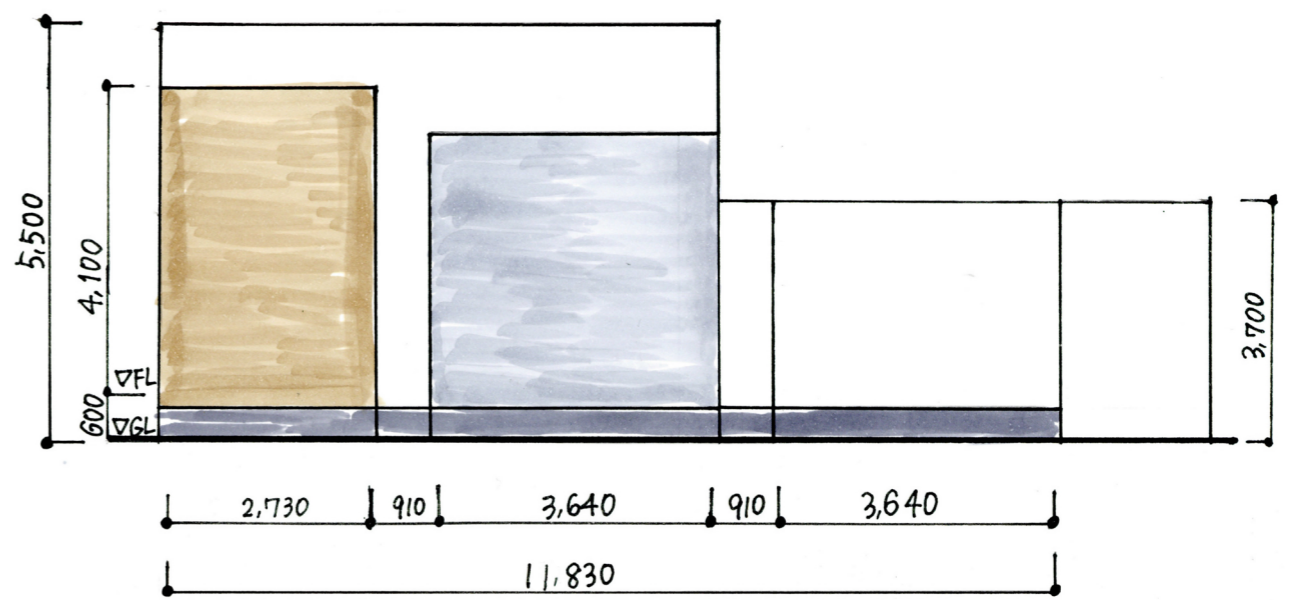
配置図兼平面図 S1:100

### 面積表

敷地面積	280 m <sup>2</sup>
建築面積	117 m <sup>2</sup>
1F床面積	117 m <sup>2</sup>
延床面積	117 m <sup>2</sup>
建蔽率	42%
容積率	42%



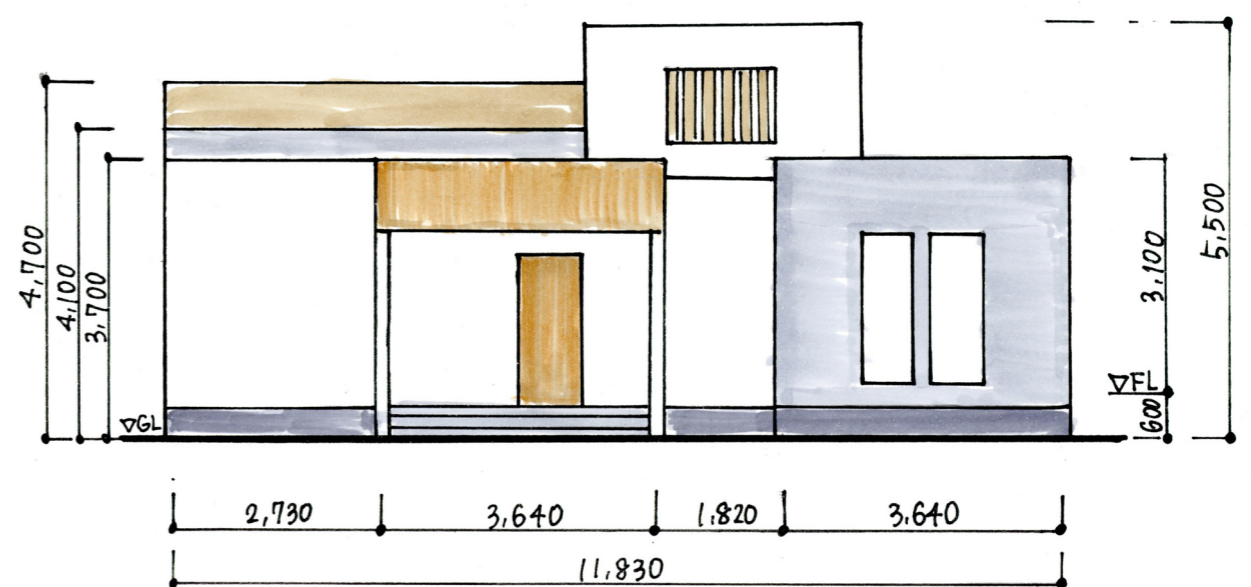
A' -A 断面図 S1:100



東側立面図 S1:100



B' -B 断面図 S1:100

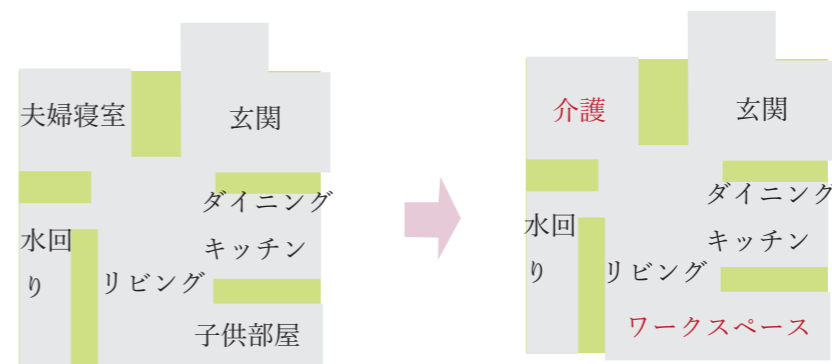


北側立面図 S1:100

10年後の社会に向けて

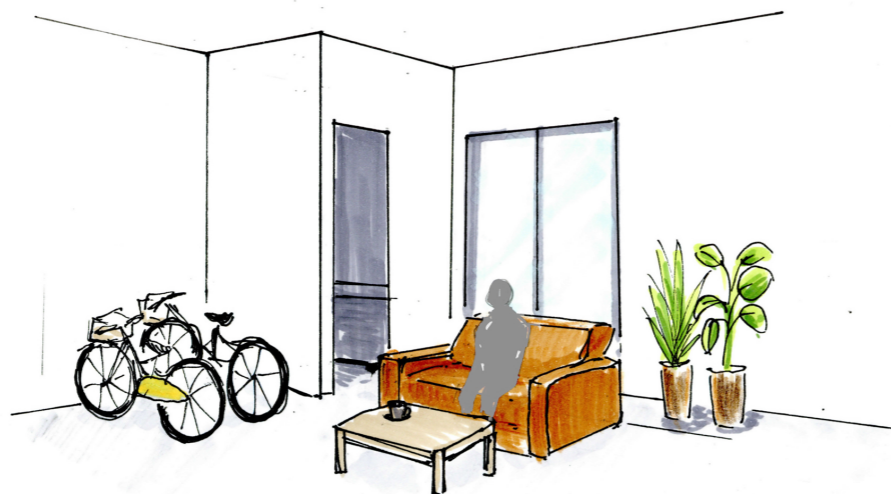
▶多様化する暮らしと人間関係  
働き方や家族構成、人との距離感がより流動的になる未来。  
織り目のようにずらされた空間配置と中庭が、変化の中でも緩やかにつながる関係性をつくる。

家族四人の生活を支える空間から、高齢化や多様な働き方といった社会の変化に対応する空間として柔軟に編みなおされていく。



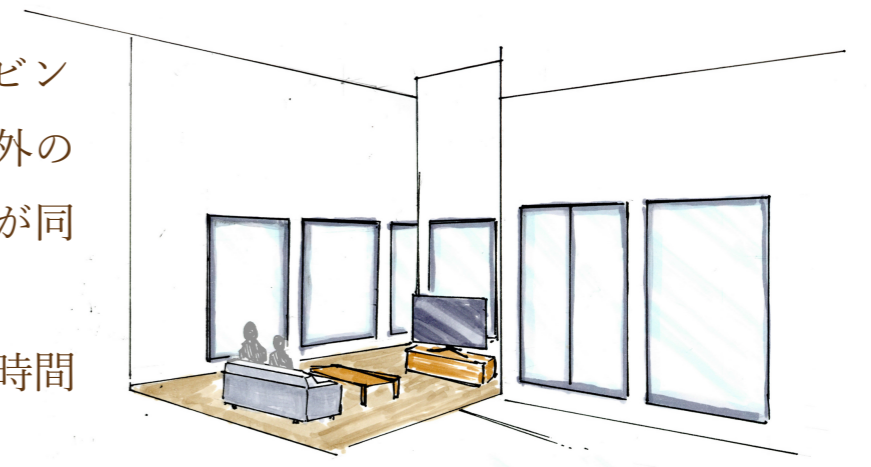
## 土間リビング

広めにとった土間は、家族のくつろぎの場でありながら、来客と気軽に会話が生まれる場所でもある。  
靴のまま座って話せる”内と外のあいだ”にある空間



## リビング

天井高 4m の開放的なリビング中庭に囲まれることで外のつながりとうちの広がりと同時に感じられる。  
空間の中心として家族の時間をゆったり受け止める。



## 最小限の子供部屋

あえてコンパクトに設定し、生活の中心がリビングなど共有空間にじみ出る構成独立後はワークスペースとしても活用できる。

中庭の開放感との対比で小さな空間にも豊かさを感じさせる。



## 夫婦寝室

夫婦寝室にはデスクを置いて父の在宅ワークにも対応

▶高齢化が進む社会を見据え、将来は介護スペースとしての利用も想定



平屋の計画と寝室横のトイレ配置により、高齢者が安全に過ごせる動線を確保した。また、広さとシンプルな形を活かし、将来の介護ベッドや手すりの設置にも対応可能とした。

